

～1958年7月12日の被曝から68年～

# 「第四の被曝」 を考える講演のつどい

(1) 【演題】日本人と原子力／忘却の果てに  
—広島・長崎・ビキニ、そして第4の被曝の末に

【講師】金平 茂紀 氏



金平 茂紀 氏

(2) 被曝者遺族のお話、他

2026. 7.11 (土)  
13:30～16:30 (開場 13:00)

会場

平塚市中央公民館 小ホール  
平塚市追分1-20 (0463-34-2111)

資料代

500円 (大学生以下無料)

お申込み

QRコードまたはメールにてお申込みください

メールアドレス：[hiromeru19580712@gmail.com](mailto:hiromeru19580712@gmail.com)

※メールでお申し込みの際は以下をご記載ください

①名前、②読み仮名、③連絡先 (電話番号)、④居住の市町村名



お申し込みフォーム

その他

託児をご希望の方は6月19日(金)までにお知らせください

第一の被曝  
ヒロシマ

1945年8.6

第二の被曝  
ナガサキ

1945年8.9

第三の被曝  
ビキニ

1954年3.1

測量船「拓洋」  
巡視船「さつま」

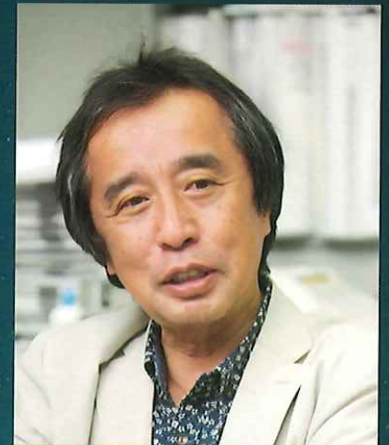
そして、第五の被曝

2011年3.11 フクシマ

1958年7月12日  
”第四の被曝”

## 金平 茂紀氏 / ジャーナリスト

1953年、北海道旭川市生まれ。ジャーナリスト。1977年にTBSに入局、2022年に退社するまで一貫してテレビ報道の取材現場で記者、ディレクター、キャスターなどを歴任。モスクワ、ワシントン両支局長、『筑紫哲也NEWS23』編集長、報道局長、『報道特集』キャスターなどを歴任。2004年度ボーン上田記念国際記者賞受賞。2022年度外国特派員協会「報道の自由賞」受賞。早稲田大学客員教授（2013年～2022年）や沖縄国際大学講師などで教壇にも立った。著書多数。最新刊『流れにさからう』、『原発回帰を考える』（共著）。日本ペンクラブ言論表現委員会委員長。オンライン・メディア『IMAGINE』を運営中。



## 「第四の被曝」の事実をさらに広めましょう

「第四の被曝」を広める会 代表 大藏律子

NHKが「封じられた“第四の被曝”～なぜ夫は死んだのか～」を放送したのは2024年9月15日。その6か月後の25年3月19日に私たちは広める会を立ち上げました。この会は、アメリカの水爆実験「ホプラ」による被曝で一年後に亡くなった海上保安庁観測船「拓洋」の首席機関士の永野博吉さんの娘さんも一緒に会を立ち上げました。あれから一年以上が経ちました。

湘南地域での上映や遺族の講演活動は、東京都内にも広まりました。多くの支援者がさまざまな行動に取り組んでいます。58年7月12日の米国の核実験から68年目になります。人類の悲願に逆行するように核拡散の動向が強まっています。私たちの広める会運動は、更に大きく進めることが求められていると考えます。知恵と力を寄せ合いましょう。